

澄んだ瞳

第79号
令和7年8月号

発行
相生市教育委員会
相生市人権教育研究協議会

がっ じんけんぶんか
**8月は、「人権文化をすすめる
県民運動」推進強調月間です!**

「人権文化」とは

日常生活の中で、お互いの人権を尊重
することを、自然に感じたり、考えたり、
行動することが「当たり前」になった生活
をいいます。

「うれしかったこと」

たまに我がたのしかったです。

まけてくやしかったけど、

みんなでちからを

あわせてがんばら

ました。

ぜんりょくで

がんばれてよかったです。



(小学1年生)

「うれしかったこと」

まえまでは、のぼりぼうでくつしたをぬが
ないとできなかつたけど、3、6年生の見本
を見たら、くつしたをぬがずのぼれまし
た。それがとてもうれしかったです。

あと、それを1年生におしえて、1年生も
やってみたらでき、「
うれしい。」

といていたからおしえてよかつたとおも
って、わたしもうれしくなりました。1年生
もえがおでした。



(小学2年生)

「ちいぎの人からもらったやさしめ」

社会の学習で、校くたんけんに行きまし
た。たてもや土地のことをしらべながら歩
いていると、のうさぎようをしていたおじさ
んが、

「いちご食べるか?」

と聞いてくれました。

畑には、おじさんが

大切に育てているいちごが

たくさんありました。

どれもまっかとても

大きかったです。みんな

いちごがりをさせてもらって、たくさんもら
いました。

学校にもどって、みんなで食べると、お店

で売っているものよりもあまかったです。ま

た、おじさんにお返しがいなと思いまし

た。



(小学3年生)

「忙しいお母さん？」

私のお母さんはいつも忙しい様子にしています。そんなお母さんに、学校から帰るとお皿洗いをたのまれることがあります。私はお手伝いをする度に、お母さんのことをすごいと思います。なぜなら、毎日家々くみんなどのために家事をこなし、仕事までしていることを思うと、

「私はいつも自分のことだけで精いっぱいだな。」

と考えさせられるからです。私もお母さんのような人をめざし、いつも感じしゃの気持ちをもって生活していきたいです。

(小学4年生)



「トライやる・ウィークを終えて」

私はトライやる・ウィークで、道の駅あいおい白龍城に行きました。そこで学んだことは、あいさつと人に優しくすることです。

あいさつは私の学校でも目標になっていて、日ごろから意識していました。が、実際に職業体験してみると、より強くあいさ

つの大切さを感じました。

お客様にあらわししてもらえると、とてもうれしい気持ちになりましたが、あいさつがないと、「勇気を出して言ったの・・・」と悲しくなりました。

それでもあいさつを続けていると、「中学生なの？。頑張ってるね。」と声をかけてくれる人が増えてきました。

また、レジ体験をしているときに、会計を終えてカバンに財布を片付けているお客様がいたので、買っていただいた商品を袋詰めする場所まで運んだことがありました。すると、そのお客様がとても喜んでくださいました。私もやってよかったなと充実感を味わうことができました。「このトライやる・ウィークで普段できない経験ができてよかったです。」

(中学2年生)



「平和について考える」

沖縄という場所の見方が変わりました。まず、沖縄は日本で唯一の地上戦が行われた場所だということをはじめ知り、地上戦は広島平和学習の時に学んだものとは、また全然違うものだとことを知りました。

今日の学習で私が一番心に残ったことは、集団自決です。実際に経験された方が動画でその時の様子を話されているのを見て、胸が張り裂ける思いがしました。

私たちは沖縄に修学旅行に行きます。もちろん楽しむところはあっていいと思いますが、沖縄では、こんなことがあったというのを常に頭にはおいておかないといけないし、実際に現地へ行って、平和学習をする時には、真剣に戦争で起こったことに向き合って、平和について考えたいと思います。



(中学3年生)

「あったか言葉」

言葉について深く考えたことはなかったけれど、意外と自分は言葉に救われているなと感じています。

また、言葉には良い言葉と悪い言葉があるけれど、私は良い言葉をもっと使っていきたいです。悪い言葉を耳にすることが少なくなるようなクラスになることを願っています。

一つ一つの言葉に責任をもち、大切にしていきたいです。そして、自分の言った言葉で誰かが幸せになることが増えたら良いなと思います。

(中学3年生)

「沖縄を訪ねて」

私は修学旅行で沖縄を訪れました。沖縄は日本で唯一、地上戦が行われた地です。平和学習を行うことで、目で見て肌で感じるものがたくさんありました。

沖縄では、ひめゆりの塔・平和祈念公園・ガマを訪れました。ひめゆりの塔では、ひめゆり学徒隊についての資料や証言映像を見

ることができ、戦争が残した傷あとも感じました。特に印象に残っていることは食事です。始めはテニスボールくらいのおにぎり2個が与えられましたが、徐々にピンポン玉くらいの大きさになったそうです。今の時代を生きる私には衝撃的な内容でした。

また、終戦近くの6月8日にひめゆり学徒隊の解散命令が出されたことも心に残りました。私は危険な中での仕事から解放されてよかったと思っていましたが、危険な中で野放しにされて、行くあてもなかったことを知りました。

しかし、その命令を出した先生たちもどうしたら200もの命を守りながら生きていけるのか分からなかったのだらうなとも感じました。

戦争は昔のことではなく、今も違う国で起きているというのを忘れずに、周りの人への思いやりをもって、これからも過酷な生活を送りたいと思います。

(中学3年生)

「人権教育講演会にて」

SNSは遠く離れていても連絡が取れたり、好きな音楽を聞いたたり、スマホ一つあれば、何

でもできるものです。その反面、使い方を一つ間違えると、取り返しのつかないことになってしまいます。

今回の講演会は、そんなSNSとの向き合い方を改めて考える機会になりました。ネットには、さまざまな情報があります。その中には、本当の情報であるものも、ないものもあります。それらを見きわめる力がこれから必要だと思いました。

また、スマホ以外にも、大麻などについてもさまざまな事件が起こっていることを知りました。不安なことやいやなことがあった時には、薬などに好奇心を抱くのではなく、まずは身近な人に相談することが大切だと感じました。同時にネット上の友だちだけでなく、直接会って話す友だちや家族を大切にしていきたいです。

ネットは確かに便利なこともあります。それを有効に利用することで良い社会を築けるとも思います。ただ、そのためには、私たちが知識を身につけて正しく使うことが必要だと思います。

今回学んだスマホの使い方について、楽しくSNSを利用し、正しくスマホを使っていきたいと思いました。

(高校2年生)

人権に関するイベント

〈人権の集い〉

出演 佐久間 レイ さん



講演 「生きるにじつは感動するにじつ」

〜柔らかな心で明日を生きてみませんか?〜

お話と歌と朗読劇で心のストレッチ

日時 8月6日(水) 18時00分開演

会場 相生市文化会館大ホール

主催 相生市教育委員会 人権教育推進室

※入場無料

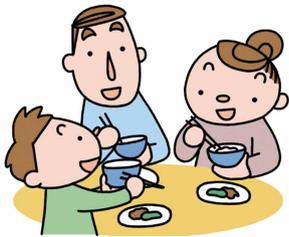
0791(23)7145

家庭で「平和」について考えてみませんか?

今年(二〇二五年)は昭和100年、そして戦後80年を迎える節目の年です。

「平和」は敗戦後の日本が、国内だけでなく国外でもその実現に向けて努力し続けてきた大切な理念です。しかし、戦争を体験された方が年々少なくなり、戦争の記憶が薄れてきています。

相生市でも下記の平和に関する行事等を予定しています。



ぜひ、この節目に家庭で「平和」について考える機会を設けてみてはぜひぜひいかがか。

〈非核平和展〉

日時 8月1日(金)〜15日(金)

(※5日、12日、13日は休館日)

会場 相生市文化会館(1階)

内容 非核平和ポスターの展示

ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネルの展示

主催 相生市役所 総務課総務係

※入場無料 0791(23)7126

〈相生市立歴史民俗資料館企画展〉

日時 7月9日(水)〜9月1日(月)

(※毎週火曜日、7月1日、2日、3日、

8月3日、20日は休館日)

会場 相生市文化会館(2階展示コーナー)

開館時間9時〜22時(夜間利用がない場合は18時閉館)

内容 戦後80年 戦時下の暮らしと平和への誓い

主催 相生市立歴史民俗資料館

※入場無料 0791(23)2961